



# Maruyama Family Clinic News

## Introduction of Staff

スタッフ紹介



放射線技師

木下 紘一郎

超音波、CT、MRI、レントゲンを担当しています。

安心して検査を受けて頂けるよう心掛けて、仕事に励んでいます。検査のことなどで分からないことがあれば、何でも聞いてください。

私が当院で働き始めて7月で9年になります。これからも地域の皆様の力になれるように努力していきたいと思えます。

## まるやまファミリー クリニック 健康便り



## 院長の巻頭言

**桜**の季節もいつしか終わり、いつの間にか葉桜の季節となりました。皆様は元気でお過ごしでしょうか。

いよいよ待ちに待った、まるやまファミリークリニック新聞の創刊号が完成しました。今年で開業10周年を迎えますが、当初からクリニック新聞を作ることが念願でした。クリニックでどんな診療をしているのか、院長は何を専門に診ているのか、どんな検査が行えるのか、いろいろ聞きたいことがあるかと思えます。この新聞には、今後私のみならず、スタッフの紹介やメッセージなども掲載し、当クリニックがより身近な診療所であるように開かれたものにしていきたいと願います。

まだまだ荒削りで完成度は低いけれど、皆様の健康にお役立ちできるような新聞を継続して発刊できるようにしたいと思います。これから徐々に暑い日に変わりつつあります。風邪などは少なくなりますが、4月の頑張りがここに来て疲労に変わる時期ですので、十分な栄養と休養に努め、健康な日々をお送りください。



まるやまファミリークリニック院長

医学博士 丸山 哲弘

当  
院  
の  
設  
備  
紹  
介

### 画像診断 CT撮影装置



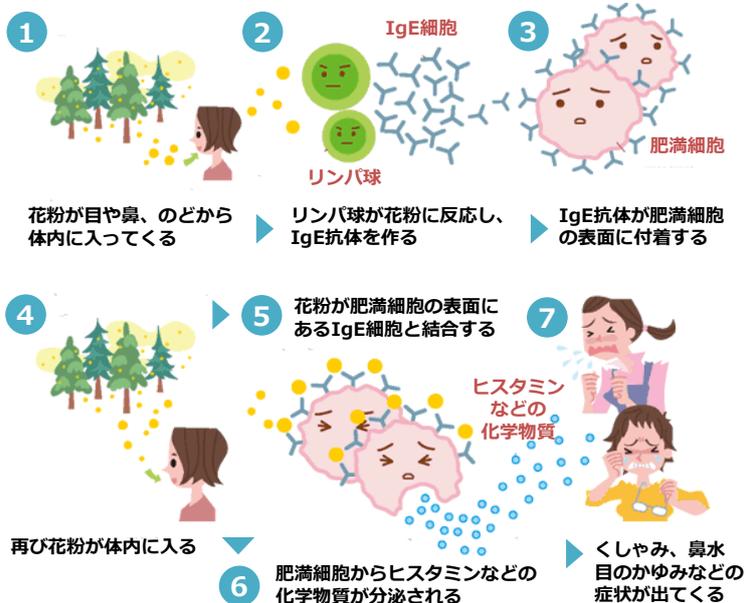
### 大腸のCTコロノグラフィー検査ができます

**当**院では、昨年9月に最新型のCT撮影装置(HITACHI Medico社製Supria)を導入いたしました。

この装置を用いて行う大腸CT検査(CTコロノグラフィー:CTC)は、内視鏡を挿入せずに背臥位、腹臥位にてCT撮影を行い、大腸CT解析が可能な専用ワークステーションを使用することで、内視鏡検査を行ったような大腸の画像を作成し、観察・診断する検査です。本装置では患者さんの負担も軽く、極めて短時間で検査が終了します。

## 花粉症発症のメカニズム

**私** たちの身体では、花粉が体の内に侵入してくると、その花粉（異物）に反応するIgE抗体というものが作られ、そのIgE抗体は肥満細胞の表面に付着します。再び侵入してきた花粉がIgE抗体に結合すると、肥満細胞からヒスタミンなどの化学物質が分泌されて、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどの症状が出てくるのです。



## スギやヒノキ花粉に注意

**花** 粉症の原因植物には樹木と草本があり、日本では約60種類もあるとされています。

主なものとしては、スギ、ヒノキ、カモガヤ、ブタクサ、シラカンバ、ハンノキなどがあります。

本州、四国、九州では、一番の原因植物はスギとヒノキです。スギやヒノキの花粉は、大量に風によって数十キロも飛んでくるので、どこにいても花粉症対策をしっかりと行うことが大切です。

北海道や沖縄ではスギは少ないので、スギによる花粉症はあまりありません。ただし北海道では、シラカンバやハンノキなど、スギに代わる多くの花粉症の原因植物があります。

一般的に、スギ花粉は、九州や関東では1月下旬から、関西では2月上旬から飛び始めます。

### ● 走査型電子顕微鏡で見た花粉



スギ（スギ科）  
飛散時期：1月下旬～4月下旬



ヒノキ（ヒノキ科）  
飛散時期：3月下旬～5月上旬

## 舌下免疫療法 - シダトレン -

**シ** ダトレンはアレルギー発症の原因物質を少しずつ身体に取り入れ、少しずつ身体に慣らしていく新薬です。舌下に投与する減感作療法薬であり、従来の皮下注射と比べ、注射による痛みもなく、自宅で治療ができるのが特徴です。

※治療をご希望の方は、当院窓口へご相談ください。

### < 減感作療法（アレルゲン免疫療法）について >

減感作療法とは、アレルギー疾患の原因となるアレルゲンを低濃度、少量から投与し、徐々に増量、高濃度へ移行させ、アレルゲンに対する過敏性を減少させる治療法で、下記のような特徴があります。

- アレルギー症状を軽減したり、長期にわたり症状をおさえる可能性のある治療法です（完治3割、症状軽減5割、変化無し2割）。
- 治療前に、症状がアレルゲンによるものかの確定診断が必要です。
- 治療は3～5年間、毎日服用しなければなりません。

### シダトレンの使用方法

治療予約  
受付中



#### 1. 舌下に投与

大きく口を開け、舌の下にその日の服用量をプッシュします。



#### 2. 2分間保持

舌の下に薬液を入れたまま2分間保持した後のみこんでください。



#### 3. 5分間はうがい・飲食禁止

その後5分間は、うがいや飲食をしないでください。

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	20時	○	休診	○	休診

午前・・・08：30～12：30（受付12：00まで）

午後・・・14：30～18：30（受付18：00まで）

※火曜日は20時まで診察（受付19：30まで）

まるやまファミリークリニック

検索

<http://www.maruyama-fc.jp/>

〒395-0157 長野県飯田市大瀬木1106-2

☎ 0265-32-1666